

## 〔国際会議開催〕

申請者	千葉大学 教授 山本 光晴	2165017
国際会議名称	14th International Symposium on Automated Technology for Verification and Analysis (ATVA2016)	
開催期間	2016 年 10 月 17 日～10 月 20 日	
開催場所	【本体会議】 三井ガーデンホテル千葉 (千葉市中央区) 【付設チュートリアル】 千葉大学西千葉キャンパス (千葉市稲毛区)	
申請者の役割	国内開催委員会委員長	

## 概 要 :

本国際会議 ATVA の目的は、システムの解析、検証、合成の自動技術に関する、理論および実践の両面での研究を促進することである。このために、地域ないし国際的な研究コミュニティと、産業界の相互交流を図るための会議を開催する。2003 年の台北での第 1 回以来、毎年主としてアジアの都市で開催されてきた。

社会の中で不可欠となったコンピュータシステムは、ますます複雑化・小型化・遍在化の一途を辿っている。このような状況において、組込システムを含むハードウェア・ソフトウェアの安全性や信頼性を確保するための解析・検証・合成技術は重要度を増している。ATVA は、中でも自動技術に重きを置いている点、研究コミュニティのみならず、産業界との相互交流を図っている点に特徴があり、理論と実践が乖離することなく、実践的問題に動機づけられた理論、健全な理論に基づいた実践的問題解決の両面を強調する点に学術的意義が大きい。

会議では国内外から企業あるいは産業界と密接に関連した研究機関からの参加者が多く見られた。これにより、当初成果として期待されたとおり、当該分野の研究者と産業界との間で、研究発表、技術・ツールの紹介、事例研究を通じた相互交流を行うことで、当該分野における理論および実践の両面での研究が促進された。

コンピュータシステムの安全性・信頼性なしには、人間と機械が調和した社会を築くことは極めて困難である。特に本会議が対象としている解析、検証、合成の自動技術により、安全性・信頼性を確保・保証するためのツールが、単に学術的な理論上のものというだけでなく、実際に産業界で使用され、人間と機械の調和に貢献するものとなるであろう。